

科目名	老年学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年	後期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
高齢者の身体的・精神的特性を介護の観点から導入して、生理的精神的变化を学び、高齢者を理解する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
高齢者の解剖学的生理学的変化や特徴を学び、医療者として対峙するべき注意点を理解する。								
〔講師の実務経験〕								
岡波総合病院、上山病院、けいはん医療生協、昭和病院、日本健康機構株式会社にて、理学療法士として16年間勤務								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の加齢変化について説明できる。 ・理学療法士の観点から、治療場面等で起こりえる特有の事態と対処方法を述べられる。 								
回数	講義内容							
1	老年学の概念について、老年社会学について(人口動態、行動心理等を含む)							
2	生理的老化について(感覚機能、自立機能、高次脳機能、睡眠等)							
3	老年症候群について(意識障害、脱水、失禁等)(転倒、骨折等)(褥瘡、嚥下障害等)							
4	認知症について(介護負担、高齢者虐待、身体抑制を含む)							
5	高齢者リハビリテーションの流れ(急性期、回復期、維持期)							
6	介護保険制度、介護予防事業について							
7	介護老人保健施設・特別養護老人施設でのリハビリテーション							
8	高齢者の運動処方について							
定期筆記試験								

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
なし		

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

学期末筆記試験の点数によってのみ評価